

# 小山作之助をもっと知ろう



## 小山作之助記念資料室

資料室には、作之助の生涯と功績をまとめた写真パネルが展示されているほか、直筆の日記、発表した唱歌集など、貴重な資料が数多く展示されています。これら展示資料は、音声による解説を聞くこともできます。入場は無料です。

- ▶ところ…大潟区コミュニティプラザ内(大潟区土底浜)
- ▶開館…午前8時30分～午後10時  
※休館日＝12月29日㊟～令和7年1月3日㊟
- ▶問合せ…まちづくり大潟(☎025-534-6810)



## 『小山作之助物語』

文/堀川正紀、山本栄美  
イラスト/小嶋秀男  
編/卯の花音楽祭実行委員会

卯の花音楽祭実行委員会が「作之助についてもっと皆さんに知ってほしい」という思いから、小山作之助生誕150周年を記念して発行した冊子です。作之助が音楽の道に進もうと思ったきっかけや、真面目で勉強熱心だった作之助の人柄を紹介しています。市内の図書館（分館を含む）で読むことができます。



# 小山作之助生誕160周年 記念フェスタ

## フェスタ内容

- 小山作之助の縁戚である杉田玄氏(大潟区杉田医院)による記念講演
- 後藤丹氏(上越教育大学名誉教授)による小山作之助の楽曲紹介
- 地元合唱団などによる小山作之助の代表曲の合唱
- ゲストによる演奏

## とき・ところ

令和7年2月23日㊟・㊟午後1時30分～4時・大潟コミュニティプラザ

## 定員

100人(抽選)  
※申し込み方法は広報上越令和7年1月号でお知らせします

## 問合せ

大潟区総合事務所  
(☎025-534-6808)



歌詞にある「卯の花」を冠した、「夏は来ぬ」の私たちはこれまで、「夏は来ぬ」の歌詞にある「卯の花」を冠した、「夏は来ぬ」の



小山作之助生誕160周年記念事業実行委員会、卯の花音楽祭実行委員会  
平澤委員長

小山作之助の功績を音楽を通して伝えていきたい

花音楽祭」を平成15年から開催するほか、より多くの皆さんから作之助について知ってもらいたいとの思いから、「小山作之助物語」を発行するなど、顕彰活動に取り組んできました。今後は、作之助が愛した音楽で地域をさらに盛り上げていくとともに、作之助が大潟区に生まれ、偉大な功績を残したことを若い世代にも伝えていきたいです。最終的には、市内各地で作之助の曲が聞かれるようになるとうれしいですね。作之助については、「小山作之助記念資料室」を訪れたり、「小山作之助物語」を読んだりすることで詳しく知ることができます。この機会に作之助の功績に触れてみてください。

## 特集 日本音楽教育の母

# 小山作之助生誕160周年

■問合せ…文化振興課(☎025-520-5628)

今年は、音楽教育家・作曲家で、「日本音楽教育の母」といわれる小山作之助が生まれてから160周年。今号は、大潟区出身で日本の音楽教育の発展に尽力した作之助の功績と地域での顕彰の取り組みについて紹介します。



小山作之助  
(1864～1927)

# 小山作之助ってどんな人？

年表はこちらから▶



## ふるさとを離れ音楽の道へ

作之助は、1864（文久3）年に潟町村（現在の大潟区潟町）で小山家の長男として生まれました。1880（明治13）年に上京し、やがて音楽の道を志し、東京音楽学校（現東京芸術大学）の前身である文部省音楽取調掛に進み、音楽について一生懸命学びました。



## 日本音楽教育の母

1887（明治20）年に文部省音楽取調掛を卒業後、作之助は日本最初の正式な音楽教師となりました。作之助は旺盛な作曲活動続ける一方で、音楽教師の育成や音楽教育の必要性も熱心に説いたことから、「日本音楽教育の母」といわれるようになりました。

※「日本音楽教育の父」は伊澤修二



## モダンなセンスを取り入れた作曲家

作之助は『夏は来ぬ』、『吉野山』、『漁業の歌』など多くの曲を作曲し、生涯で手がけた曲は1,000以上にも及びます。作之助の作品には、日本古来の音楽を大切にしながらも、西洋音楽の優れた要素を進んで取り入れるなど、新しい感覚と工夫で作られた曲が多くあります。

# 小山作之助の曲に触れてみよう

「まちづくり大潟」のホームページでは、作之助の代表曲を聞くことができるリンクを掲載しています▶



## 作之助の代表曲『夏は来ぬ』

「卯の花の…」で始まるこの曲は、作之助が作曲した曲の中で最も有名です。平成19年に発表された「日本の歌百選」（文化庁・日本PTA全国協議会）にも選出されているほか、日本を代表する唱歌として年齢を問わず親しまれていることや、地元出身の作曲家でもあることから、令和7年3月に開業10周年を迎える北陸新幹線「上越妙高駅」の発車メロディーに採用されています。



6月に見頃を迎える卯の花

## ふるさとに捧げた曲『潟町青年團歌』

糸魚川出身の作詞家・相馬御風と共に、潟町青年会のために作った曲です。「大変良い曲なので心を込めて歌いなさい」という作之助のメッセージが青年会に届いたといわれています。作之助直筆の楽譜は現在、額に保管し、潟町町内会が所蔵しています。



作之助直筆の譜面「潟町青年團歌」（潟町町内会所蔵）